

# 振興会だより よしだ

2022年(令和4年)  
1月20日発行  
第50号  
吉田地区振興会

## 災害について 気象予報士から学ぶ

12月19日(日曜日)午後1時30分から市民文化センターでNHK広島放送局気象キャスターの勝丸恭子さんと、広島県自主防災アドバイザー連絡協議会会長の柳迫長三さんのお2人を講師としてお迎えし、防災・減災講演会を開催しました。

気象予報士をお迎えしての講演会は2度目ですが、今回は約120名の方にご来場頂き、中には、三次市・庄原市・広島市からも来られ、防災について関心の深さが伺えました。



### 防災講演会を受講して

左内二班 上田 隆之  
昨年の夏は、自分史上では経験したことのない水害に見舞わ

れた夏でした。しかし、何年かに一度経験する災害ではなく、もっと頻繁に経験する時代になったのではないかと不安に思っていた時、地域振興会主催の『防災講演会』の開催を知り、参加させていただきました。

メイン講師は、朝のテレビでお世話になっているNHK広島放送局気象キャスターをお務めで、防災士の資格もお持ちの気象予報士「勝丸恭子」さんでした。

民放テレビ局の仕事から転職し、気象予報士を目指したきっかけを含めて、勝丸さんの自己紹介から講演は始まりました。

まず印象に残ったのは、「平常バイアス」という心理学用語でした。自然災害や火事、事故、事件などといった自分にとって何らかの被害が予想される状況に直面していても、それを正

常な日常生活の延長上の出来事として捉えてしまいがち、都合の悪い情報を無視したり、「自分は大丈夫」「今回は大丈夫」「まだ大丈夫」などと過小評価して、それに対応しない自分があります。昨年の夏の水害の時も、飼っている犬がいるからと勝手な理由で、最初の夜は避難しませんでした。

しかし、テレビの報道を見た東京や岡山など、遠方の親戚からも何回も指示され、また、近所の皆さんが避難しておられることもあり、二日目には避難しました。やっと、「避難スイッチ」が入ったのです。

このように、一方では私たちは「同調性バイアス」というものも持っています。みんながするようになります。誘い合って避難することが大切です。自主防災組織の大切さは、そこにあるのかも知れません。

今回の講演会で唯一残念だったことは、コロナ禍のため、マスク姿の講師のお顔しか拝見できなかつたことです。早くコロナが終息し、テレビではなく、講演会で素顔の勝丸さんに会いたいと願っています。企画いただいた関係者の皆さん。ありがとうございました。

令和三年八月十一日からの記録的な豪雨に見舞われ、多治比川が氾濫し甚大な被害をもたらしました。これにより被災された振興会会員の皆様方に対し、衷心より御見舞い申し上げますと共に、一日も早く復旧・復興されますことを心より御祈念申し上げます。

吉田地区振興会役員一同

勝丸さんの講話の一部分を紹介いたします。

## 命の『K』で ごのちを守る



2021年8月の大雨で安芸高田市のみなさんも大変な思いをされたことと思います。被害にあわれたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

地球温暖化の影響と共に、雨の降り方が極端になってきていることを実感します。毎年全国のどこかで大きな災害が起きています。これまでにない雨の降り方をするということは、これまででは大丈夫だったという経験が頼りにならないということです。日ごろから「考え」ておくこと、いち早く異変に「気づく」こと、安全に素早く「行動する」ことの『3K』で、命を守る防災力をつけていただきたいと思います。それでは、3Kについてひとつずつ詳しく説明します。

### 【考える】

なにより大切なのは「命を落とさないための備(そなえ)」です。非常持ち出し品を用意して

も、命が助かっているいと役立つかもしれません。



吉田病院前の国道54号線

くる恐れがあるのか、浸水の深さは何メートルなのかを調べてください。自宅が安全なら、その場で安全確保はOK。その場合はライフラインがとまっても過ごせるような備えをしておきましょう。

●自宅が安全でない場合は、避難先を考えておきます。指定の避難所に行きにくいと感じる方は、お友達や親せきのお宅、公共施設などでもいいので快適に過ごせる避難先をいくつか想定しておきます。

### ●まずは

何から逃げる必要があるのかを徹底的に調べるのが防災の第一歩。ハザードマップをよく見て、自宅に土砂が入って

●避難途中に巻き込まれるケースが後を絶ちません。どこを通れば安全に行動できるのかもあらかじめ確認しておいてください。川や山のそばを通らなくてはいけない場合は、より早く避難を始めることが大切です。

●いつ避難を始めるかも、考えておきましょう。警戒レベル4『避難指示』が出たら全員が安全な場所にいることが大切です。決してレベル5を待たないでください。ご高齢の方、ケガをしている方、小さなお子様を連れている方、避難先が遠い方：など。また、時間がかかりそうな方は他の人より早めの「レベル3」で行動されるのが良いとされています。

### 【気づく】

天気予報では、私たち気象予報士は「マークでは分からないこと」を話しています。雨がいつどこで強くなるか、危険なのかどうか。また普段から「風が吹くので、予想気温よりも寒く感じられる」「マークにはないけれど、にわか雨が…」といった具合です。天気予報は見るだ

けではなく聞いてもらうと、情報量が増えます！

### 【行動する】

気象庁の「キキクル」では、災害の危険度をわかりやすく色分けで表示しています。NHKのデータ放送でも同じような災害の危険度情報を見ることができまます。「まあ大丈夫だろう」ではなく、客観的な情報を集めて判断に役立てて下さい。また、ぜひとも周りに声をかけあって避難をしていただければと思います。

広島県は日ごろ穏やかでとても良い所です。でも、実は土砂災害の危険箇所が全国一多い所です。また日ごろ雨が少ないだけに、他の地域に比べると少ない量の雨で災害につながる場所でもあります。

それから、中小河川はあつとついでに水量が増えて、避難を判断するまでの時間が短いのが特徴です。くれぐれもしっかり備えて、これからの雨の季節を無事に乗り切っていたいただきたいと思ひます。



### 秋の花いっぱい運動

11月7日(日) 午前9時JA本所に19名の環境福祉部員が集合しました。天気予報では雨の可能性が有りヒヤヒヤしていましたが、何とかもちこたえました。

吉田小学校・吉田幼稚園・吉田保育所・百楽荘は5日(金)に配達していただきましたので今日は、JA本所前の花壇だけ植栽しました。獣害防止のために設置したネットを取り払い、雑草を抜き、マルチを剥がして新たな土と肥料を施して準備完了。ピオラを植え付け、最後にネットを設置して終了しました。



春の植栽を経験しておられる方が多かったので手際よく作業を終えることができました。『どうか 獣害に遭いませぬように』と祈りながら作業を終えました。みなさん見守ってくださいネ!

### 友愛訪問

毎年「特色ある地域づくり事業」として実施しています「友愛訪問」を、12月4日(土)に行いました。

「家にとじこもりがちな高齢者の方に手作りのお弁当を届けて交流を図る」ことを目的として毎年実施している事業ですが、保健所の指導もあり、「手作り」

のお弁当を届けることが困難になりました。そのため、近年は業者から購入したお弁当をお届けせざるを得なくなっています。

当日は、役員・環境福祉部員が運動公園創作室に集合し、業者から届いた244人分のお弁当の仕分け作業などを行い、各地区の行政区委員の皆様が午後3時から引取りに来られるのを待ちました。夕食としてお弁当を配達していただきましたが、「事前の確認作業と配達の際に、久しぶりにお話できて良かったよ」との報告もありました。

環境福祉部の皆さん

ありがとうございました。



### 今年度、中止となった行事

今年度もコロナ禍により、4月の満開の桜の下での郡山桜まつりをはじめ、夏の夜空に美しい大輪の花を咲かす一心祭り、9月の敬老会など、みんなが楽しみにしている大きな行事全てが中止となりました。

また、正月に市民文化センターで実施していた書き初め大会は学校内で行われることになり、内容が変更されました。

そして、合併以来毎年実施してきた市長との自治懇談会も昨年に引き続き中止となりました。

昨年度の理由は、市長が行政上の課題として捉まえていることをテーマとし、そのテーマに関係する対象者に絞って意見交換をする、という理由からです。

今年度は、市民の代表として市議会議員がおられるのだから、市民の代弁者としての役割を果たして頂けるような方法に見直すとのこと。なお、私達は市長から「世界で一番住みたいと思えるまちづくり」についてお話を聞きたいと要望していました。

# グラウンドゴルフ大会が盛大に行われる

10月24日(日)午後1時から吉田運動公園で第26回吉田地区振興会グラウンドゴルフ大会が開催され、団体9チーム、個人54名の選手が参加されました。なおこの大会は、上位8チームが吉田町のチャンピオン大会への出場権が懸かっており、熱戦が繰り広げられました。まずは、吉田地区振興会の地区予選の成績です。



## 【団体の部】

優勝 郡山B  
準優勝 西土手あじさい

- 3位 一丁目
- 4位 西土手さくら
- 5位 五丁目
- 6位 郡山A
- 7位 高樋
- 8位 四丁目
- 9位 川向

## 【個人の部】

(男子)

- 1位 松本忠義 (郡山A)
- 2位 中岡忠孝 (四丁目)
- 3位 山中敏生(西土手あじさい)

(女子)

- 1位 杉浦信子 (四丁目)
  - 2位 山本美枝子 (郡山B)
  - 3位 平岡嘉子(西土手あじさい)
- 体育部の皆さま 大変お世話になりました。

◎そして、11月21日(日)に第24回吉田町グラウンドゴルフチャンピオン大会の火蓋が切られました。さて、吉田地区の選手皆さんの成績は如何だったでしょうか。

## 【団体の部】

優勝 新屋郷  
準優勝 五丁目

- 3位 千川
- 4位 郡山B



## 【個人の部(関係分のみ)】

- 3位 藤堂繁登 (郡山B)
- 8位 橋野節男 (五丁目)
- 13位 岸田テル子 (五丁目)

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひします。

今年度もコロナ禍で行事が中止となり、記事が無く紙面が埋まりません。各行政区で、例えばとんど・防災訓練・餅つき大会など行事が有りましたら記事をいただけませんか。お待ちしております。

さて、昨年12月に開催した勝丸恭子さんをお招きした防災講演会は大変役立ちます。例えば、今までの天気予報は、何気なく見て 聞いていましたが、聞く方に趣を置くと言うことです。また、降水確率が30%で出かける場合は傘を持参する、だそうです。そのほかにも色々教わりました。今回のお話を参考に、家族や地域のみんなで防災学習・防災訓練などを重ね、災害が発生した時に自分の命を守るにはどういった行動を取るか学習しようではありませんか。被害を少しでも小さくするために。

今田 基良